

第1028回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成27年7月30日（木）午後3時00分～午後5時10分

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 教育長 吉井委員 清川委員 小泉委員 西野委員 八田委員
古谷企画幹（学校教育） 穴吹企画幹（教育振興）内田企画幹（高校改革）
淵本企画幹（義務教育） 田中高校教育課長 渡辺生涯学習・文化財課長
吉野スポーツ保健課長

4 議 題

日程第1 第20号議案 平成28年度福井県公立学校教員採用選考試験第1次選考
合否の決定について

日程第2 第21号議案 平成28年度福井県立高等学校推薦入学者選抜制度の変更
について

5 審議事項

（1）開会宣告 午後3時00分

（2）会議録署名人の指名 西野委員 八田委員

（3）議事要録

教育長 本日の日程第1、第20号議案、日程第2、第21号議案および協議報告事項の
5から8については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開といたし
たい旨発議

———当該議案を非公開と決定———

◎協議・報告事項

（1）主権者教育に係る動向と今後の対応について

清川委員 県選挙管理委員会の出前授業を全ての学校で行うのは、かなり厳しいので
はないか。

高校教育課長 日程的には厳しいが、来年夏の衆院選から適用されるため、今年度中に全
高校で行う予定である。

吉井委員 国からどのようなガイドラインが示されるのかわからないが、教員に対して
おらかな指導をお願いしたい。

高校教育課長 教員が授業で新聞を取り上げる際には、政治的中立性を担保することが大切であり、その中で生徒が積極的に議論し、意思決定できる力をつける授業を行うことが最適であると考えている。

教育長 政治的中立の基準がはっきりすれば、教員もおおらかな指導ができる。世論が割れるテーマを取り上げる際には、生徒に幅広い情報を提供し、生徒が様々な意見を聞いた上で、自ら考える力をつけて欲しいということである。

(2) いじめに対する組織的な対応の徹底について

八田委員 平成24年度にいじめ認知件数が大幅に増加している理由は何かあるのか。

企画幹(義務教育) 平成23年の大津のいじめ事件を受けて、本人がいじめられていると認識しているものは、見逃さず対応していこうということで、認知件数が増加しているが、その後は、減少傾向にある。

八田委員 どの様な状態になるといじめ解消と判断するのか。

企画幹(義務教育) 本人同士が謝罪することだけが解消ではない。それぞれの進路が決まり別々の道を進むことで解消となるものもある。その判断は校長だけでなくスクールカウンセラー等専門家も含めたチームで判断している。

(3) 学校運営の効率化について

(4) 国の教育改革の動きについて

教育長 日程第1、第20号議案を議題

企画幹(高校改革) 資料に基づき説明

教育長 第20号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

教育長 日程第2、第21号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

教育長 第21号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

◎協議・報告事項

(5) 平成27年3月学校卒業者の進路実態調査結果について

(6) 平成27年度文部科学大臣表彰について

(7) 公立学校共済組合保養所「芦泉荘」の廃止について

(8) 福井県立体育施設指定管理者選定委員会委員について

教育長 本日の会議の終了を宣告